

向こう1か月の天候の見通し
全国（9/5～10/4）

予報のポイント

- 北日本の向こう1か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため高く、期間の前半はかなり高くなる可能性があります。
- 東・西日本では、7月から8月上旬にかけて、暖かい空気に覆われやすかったため、気温の高い状態が続きました。気温は再び高くなっており、今後1か月程度も暖かい空気が流れ込みやすいため、気温の高い状態が続く見込みで、向こう1か月の気温は高いでしょう。期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。
- 北・東・西日本では、期間前半は活動の活発な秋雨前線の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は、東日本と西日本太平洋側で多く、北日本と西日本日本海側で平年並か多いでしょう。

向こう1か月の天候

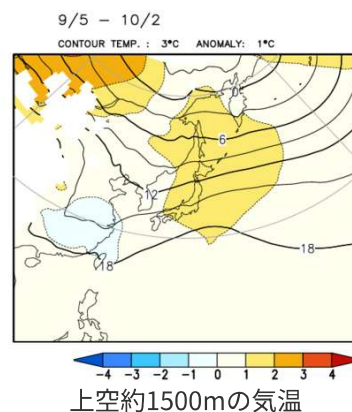
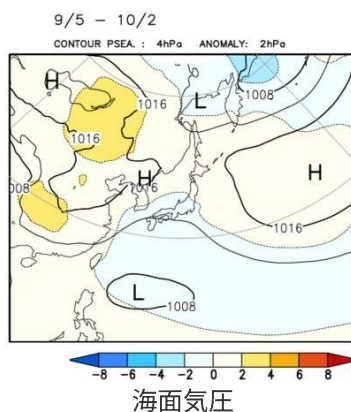
- 北・東日本では、天気は数日の周期で変わります。
- 西日本では、天気は数日の周期で変わりますが、期間の前半は平年に比べ晴れの日が少なく、期間の後半は平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
- 沖縄・奄美では、期間の前半は平年に比べ晴れの日が少なく、期間の後半は平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間

		平均気温（向こう1か月）	降水量（向こう1か月）	日照時間（向こう1か月）
北日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低10 並20 高70% 高い見込み	少20 並30 多50% 多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少20 並30 多50% 多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低10 並20 高70% 高い見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少20 並30 多50% 多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
沖縄・奄美		低30 並30 高40% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率（％）です				

1 か月平均の海面気圧（左図）は、日本の東海上で高気圧が強い一方、日本付近は気圧の谷となるでしょう。このため、北・東・西日本では、期間の前半は高気圧周辺の暖かく湿った空気が入り、活発な秋雨前線の影響を受けやすいでしょう。また、沖縄・奄美では、期間のはじめを中心に、台風や湿った空気の影響を受けやすいでしょう。期間の後半は、華中付近の高気圧が、西日本から沖縄・奄美を覆いやすいでしょう。

上空約1500mの気温（右図）は、北・東日本中心に平年より高く、北・東・西日本は暖かい空気に覆われやすいでしょう。



季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

週別の天候

9/5～9/11	- 北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 - 東・西日本では、活発な秋雨前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 - 沖縄・奄美では、台風や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
9/12～9/18	- 北・西日本と東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、活発な秋雨前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 - 東日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 - 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
9/19～10/2	- 北・東日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 - 西日本では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 - 沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

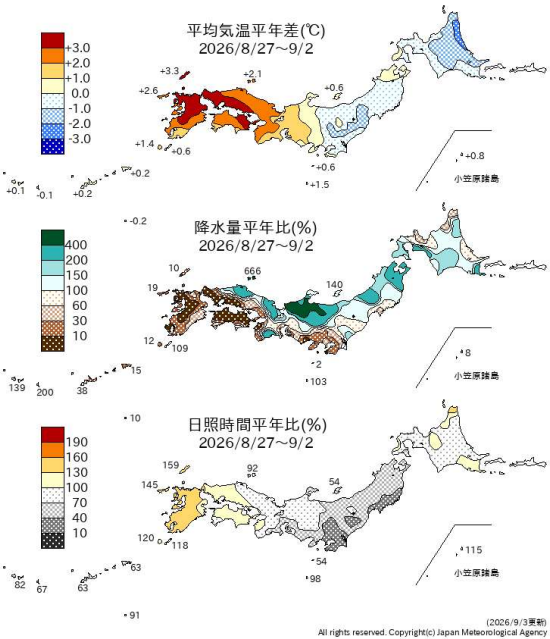
明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報（<https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/>）を参照してください。

	平均気温（1週目） 9/5～9/11	平均気温（2週目） 9/12～9/18	平均気温（3～4週目） 9/19～10/2
北日本	低20 並50 高30% 平年並の見込み	低10 並30 高60% 高い見込み	低10 並20 高70% 高い見込み
東日本	低20 並30 高50% 高い見込み	低10 並10 高80% 高い見込み	低10 並30 高60% 高い見込み
西日本	低10 並30 高60% 高い見込み	低10 並10 高80% 高い見込み	低10 並30 高60% 高い見込み
沖縄・奄美	低30 並50 高20% 平年並の見込み	低20 並40 高40% 平年並か高い見込み	低30 並40 高30% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率（％）です			

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。
「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料（<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/zenpan1.html>）をご覧ください。
文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「参考（確率予報の解説）」をご覧ください。

最近1週間の天候経過

- 最近1週間（8月27日～9月2日）は、期間の中頃にかけて、活動の活発な秋雨前線が、西日本の日本海沿岸から北陸付近に停滞し、8月27日には石川県と富山県で線状降水帯が発生し、記録的な大雨となったほか、29日から30日には福井県で記録的な大雨となりました。また、北海道を寒気を伴った低気圧が27日から28日に通過し、28日に北海道釧路地方で線状降水帯が発生しました。9月1日から2日には北日本に低気圧が接近し、2日に青森県で線状降水帯が発生しました。これらにより、北日本と東日本日本海側から山陰にかけ、降水量が平年を上回りました。また、日照時間は北日本から山陰にかけ平年を下回りました。一方、西日本は日本の南東海上に中心を持つ高気圧に覆われ、九州中心に晴れた日が多くなりました。このため、西日本では四国や九州を中心に降水量が平年を下回り、日照時間は平年を上回りました。沖縄・奄美では、湿った空気の影響で雲が広がりやすく、降水量は一部で平年を上回り、日照時間は平年を下回りました。秋雨前線の影響で雲が広がりやすく、シベリア東部に中心を持つ高気圧からの冷涼な空気の影響を受けた北日本では、気温は平年を下回った一方、高気圧に覆われて晴れの日が多かった西日本を中心に、気温は平年を上回りました。



確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い） 確率が50%以上	高い（多い） 見込み
（20：40：40）	平年並か高い（多い） 見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
（40：30：30） （30：40：30） （30：30：40）	ほぼ平年並の見込み
（40：40：20）	平年並か低い（少ない） 見込み
低い（少ない） 確率が50%以上	低い（少ない） 見込み

気温・降水量・日照時間等の平年値につきましては、次のページをご覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/zenpan1.html>



天気日数（晴れ日数及び降水日数）の平年値につきましては、次のページをご覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/tenkinissuu/tenkinissuu.html>

